

平成22年度

広島大学地域貢献研究 成果発表会

日時：平成23年7月28日(木)10:20~14:50

場所：広島大学中央図書館ライブラリーホール (東広島キャンパス)



プログラム

■開場受付 10:00

■開会挨拶 (10:20~10:3)

広島大学副理事・社会連携推進機構長 宮地 壽

■研究発表

□第1部 (10:30~12:00)

- 1 ごみ溶融スラグの構造用コンクリートへの有効活用に関する研究
- 2 無線振動モニタリングシステムを活用した建築物の構造安全性と耐久性評価技術の開発
- 3 野生生物による農業被害軽減という集落共通課題を通じた地域力の向上に関する研究

研究代表者：佐藤 良一 (工学研究院)
課題提案者：呉市環境政策課

研究代表者：大久保 孝昭 (工学研究院)
課題提案者：東広島市建築指導課

研究代表者：谷田 創 (生物圏科学研究科)
課題提案者：世羅郡水田農業推進会議

(休 憩)

□第2部 (13:00~14:25)

- 4 食品素材としてのタコの機能性の解明とその食品開発への応用
- 5 周防灘中津干潟におけるアサリ漁場の復活に向けた干潟・海洋調査
- 6 希少鳥類の繁殖効率向上のための非侵襲性手法による性(雌雄)判別法の開発と実用化およびその手法の教育・普及活動の実現に向けた動物園・地域一体型の取り組みの実現

研究代表者：加藤 範久 (生物圏科学研究科)
課題提案者：三原商工会議所

研究代表者：井関 和夫 (生物圏科学研究科)
課題提案者：大分県漁業協同組合中津支店

研究代表者：西堀 正英 (生物圏科学研究科)
課題提案者：広島市立安佐動物公園

■閉会挨拶 (14:40~14:50)

広島大学産学・地域連携センター
地域連携部門長 澤 俊行

地域貢献研究とは?

「地域貢献研究」は、地域社会において直面している課題の解決や地域の皆さんの夢の実現のために、広島大学の多様な人材や資金を積極的に活用して研究プロジェクトを展開する、広島大学オリジナルの地域貢献事業です。

平成14年度から平成22年度まで9年度にわたって、地域社会から300件を超える研究課題を提案をいただき、その中から92件のプロジェクトについて、広島大学の研究者と地域の皆さんが連携・協力しながら研究を実施してきました。

表 地域貢献研究の実施状況(平成14~22年度実施分)

実施時期	提案された研究課題件数	学内申請プロジェクト数※	採択プロジェクト数
平成14年度	40	18 (23)	7
平成15年度	43	20 (22)	13
平成16年度	39	35 (25)	19
平成17年度	23	8 (9)	5
平成18年度	32	19 (18)	12
平成19年度	30	20 (18)	10
平成20年度	33	15 (17)	9
平成21年度	30	18 (19)	11
平成22年度	41	13 (16)	6
合 計	311	166	92

※注) ()内は学内申請プロジェクトに対応する課題数(複数の提案をまとめた場合や一つの提案に複数の応募があるため申請プロジェクト数と一致しない。)

なお、平成22年度募集(平成23年度実施プロジェクト)から、本制度は「広島大学地域連携推進事業」としてリニューアルしています。

詳しくは下記のアドレスをご参照ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/ccc/intro/tie/index.html>



お問い合わせ
広島大学社会連携・広報・情報室 社会連携グループ 総務担当
TEL:082-424-5654 FAX 082-424-6189
E-mail syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp
URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/11244>